

ロシア調査団派遣報告

1. 訪問日程

2006年11月20日～11月24日

2. 訪問先

- ①JETRO モスクワセンター ②ロシア特許庁 ③ユーラシア特許庁
- ④Sojuz patent事務所 ⑤Gorodissky事務所 ⑥モスクワ市裁判所
- ⑦商業裁判所

3. 派遣の目的

・BRICsの一国であるロシアへの日本企業の事業展開に伴い知財権の取得・活用の必要性が課題視されている昨今、ロシア特許の取得・活用に関する制度・運用面の調査結果を会員企業へ情報発信し、今後、ロシアでの企業活動の推進に向けた制度・運用面の提言を行うことを目的とする。

4. 調査内容

- ・ロシア各国(特・実)及びユーラシア条約(特のみ)の各権利化ルートの制度・運用面の調査(特徴例:ユーラシア特許は拒絶応答期間の延長に上限なし。実用新案の登録要件は、国内公知公用のみ、進歩性不要)。
- ・特許侵害訴訟の制度・運用面の調査(特徴例:刑事罰あり。均等論適用あり。包袋禁反言なし。懲罰賠償なし。間接侵害規定なし。強制実施権の制度あり。侵害訴訟での権利無効の主張不可)。
- ・特許権取得・権利行使に関する法制度は整備されているものの、運用面での事例としての判例・審決の蓄積は少ないのが現状。

⇒詳細は協会発行資料として報告予定



ロシア特許庁関係者と会合



ユーラシア特許庁での議論風景

国際第2委員会

2006年度の委員会活動実績

欧州の特許取得・活用に関する調査研究、国際的な特許制度についての提言

取組	活動実績
欧州における特許取得・権利活用に関する調査研究 (第1, 2小委員会)	<ul style="list-style-type: none"> ●調査研究報告(知財管理誌に論説掲載) 「欧州特許における公衆利用可能性の判断」 (2006年、第1小委員会) 「英国における特許侵害訴訟手続」(2006年、第2小委員会) 「EPCにおける分割出願」(2007年予定、第1小委員会) ●調査団派遣 ロシア調査団派遣(2006年、第2小委員会)
国際的な特許制度についての提言 (第3小委員会)	<ul style="list-style-type: none"> ●WIPO会合への参画 PCT制度の改善、実体特許法の調和促進に向けた日本ユーザとしての意見表明 ●三極ユーザ会議への参画 三極における特許出願手続・審査実務の調和促進

国際的な特許制度に関する提言活動





WIPO会合での活動



(WIPO本部)

会合	目的	活動実績
PCT制度改正 (PCTリフォーム)	PCT制度改善 (規則改正)	●第8回会合(2006年5月)参加 ⇒ 国際調査の質向上、オプションとしての追加サーチの必要性等について意見表明

三極ユーザ会議での活動(知財協会内の連携テーマ)

メンバー	目的	検討項目	活動実績・予定
 Japan Intellectual Property Association  UNICE (欧州)  IPO  AIPLA (米国)	三極のユーザ団体が結束して特許制度の調和を促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 出願フォーマットの統一 ● 電子出願環境の統一 ● 調査結果相互利用の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 第5回会議(2006年2月 東京) ● 第6回会議(2006年11月 大阪) ⇒ 統一出願フォーマット合意書調印 ⇒ 三極特許庁・ユーザズ会合での要望、三極特許庁WGとの調整 ● 第7, 8回会議(2007年 米国)

UNICE : Union des Industries de la Communauté européenne

IPO : Intellectual Property Owners Association

AIPLA : American Intellectual Property Law Association



(第6回三極ユーザ会議)